

講座の目的：e-Stat<sup>※1</sup>、統計GIS<sup>※2</sup>、API機能<sup>※3</sup>を使い、  
統計オープンデータを活用したデータ分析の基本的な知識を習得する

開 講 日：令和3年1月12日（火）

学 習 時 間：1回10分程度×5～7回程度（1週間）×4週

課 題：各週の確認テストと最終課題の実施

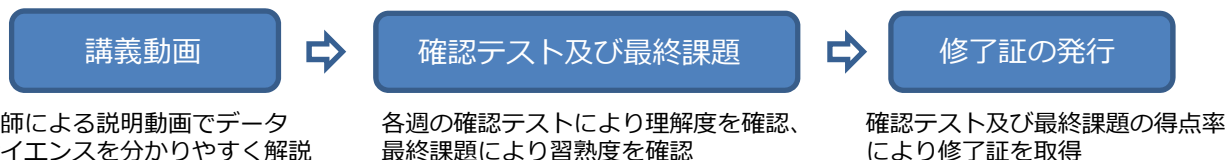
講 師：西内啓氏（統計家）、小谷祐一朗氏（「GEEQ<sup>※4</sup>」開発者）、  
総務省統計局及び（独）統計センター職員



週	各週のテーマ	内 容
1	e-Statを使ったデータ分析	e-Statの統計データを活用したデータ分析の事例を学ぶ (e-Statの機能紹介、活用事例紹介等)
2	公的統計データの使い方	公的統計データの基本事項及び読み方を学ぶ (公的統計の種類と体系、労働力調査・家計調査の基礎知識及び利用の際のポイント等)
3	統計GISの活用	統計データと地図を組み合わせた統計GISの活用方法を学ぶ (jSTAT MAPの機能紹介、簡単にできるレポート作成、活用事例紹介等)
4	統計オープンデータの高度利用	統計API機能の仕組みや具体的な活用事例等の統計オープンデータの高度な活用方法を学ぶ (統計APIの仕組み、統計オープンデータの活用事例、講座のまとめ等)

- ※1 政府統計の総合窓口
- ※2 地図で見る統計（jSTAT MAP）
- ※3 データを自動で取得できる機能
- ※4 「GEEQ（ジーオ）」は不動産販売価格予測サイト

### ▶ 講座の流れ



### ▶ これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

**「社会人のためのデータサイエンス入門」**

(講座の特徴)  
データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

(開 講 時 期)  
平成27年3月、11月  
平成28年3月<sup>※</sup>、12月  
平成29年5月<sup>※</sup>  
平成30年5月、11月<sup>※</sup>  
平成31年4月<sup>※</sup>  
令和元年10月、12月<sup>※</sup>  
令和2年5月、9月<sup>※</sup>、12月<sup>※</sup>

(学 習 時 間)  
1回10分程度×6～9回程度  
(1週間)×4週

(実 績)  
社会人を中心に延べ  
約119,000人が受講

**「社会人のためのデータサイエンス演習」**

(講座の特徴)  
「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

(開 講 時 期)  
平成28年4月、11月<sup>※</sup>  
平成29年11月  
平成30年6月<sup>※</sup>  
令和元年5月、10月<sup>※</sup>  
令和2年9月

(学 習 時 間)  
1回10分程度×5～6回程度  
(1週間)×5週

(実 績)  
社会人を中心に延べ  
約49,000人が受講

**「誰でも使える統計オープンデータ」**

(講座の特徴)  
公的統計の基本的な知識とデータ分析の実践的な手法を学び、統計オープンデータの活用へ

(開 講 時 期)  
平成29年6月、10月<sup>※</sup>  
平成30年12月  
令和2年1月

(学 習 時 間)  
1回10分程度×5～7回程度  
(1週間)×4週

(実 績)  
社会人を中心に延べ  
約20,000人が受講

※特別開講：参考として動画の閲覧のみ可能な講座